

事業所名	グループホーム 青い鳥 ※
日付	平成20年2月1日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士・認知症ケア専門士 訪問介護員
自主評価結果を見る	自主評価結果を見る
評価項目の内容を見る	評価項目の内容を見る
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!)	事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!) ※

1. 評価結果の概要

<p>講評</p> <p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業主が管理者であり、介護員としても現場に入り、ホームの状況及び、入居者や職員の現状の把握に努めている。また、改善の指摘に対しても前向きに取り組み、ケアの向上への姿勢が窺えます。 ・ 入居者との対話を大切にしてゆったりとした生活への支援がされています。 ・ 利用料金も安く設定して、困っている家族の入居にも出来るだけ応じる様な取り組みがされています。
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>協働と意識の統一化による質の高いケアと介護計画書に基づくサービスの提供に取り組まれる事を期待します。</p>

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>個人を尊重し「その人らしく・自分らしく」をモットーに、今日1日を楽しみ、我が家の様に過ごしてもらえるグループホーム。美味しい食事とスキンシップ・会話を大切にしながらターミナルケアも出来るグループホームを目指している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。</p> <p>会話・スキンシップなどコミュニケーションを大切にされたケアを心掛けています。問い掛けに対しても「ちょっと待って」と言わずにその場で対応する・話をよく聞く・一緒に考える・時には気分転換に散歩に出掛ける等、心のケアを大切にされた取り組みがされています。</p>		

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>その人の生活習慣を大切に経験や知識を日常生活に活かせる様努めています。また、自立を促し自尊心を傷つけない対応を心掛けて現状に合わせた支援に努めています。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		○
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組		○
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>日々の気付きをその場で改善してケアの質の向上に繋げています。また、その人らしさを大切にされたケアを心掛けて情報の共有に取り組み、問題発生時は早期発見と適切な対応に努めています。これからも日々の自己研鑽に加え、外部研修への取り組みと内部での研修を重ねられてレベルアップに努められる事を期待します。</p>		